

2025 年度

山梨英和大学大学院

人間文化研究科

臨床心理学専攻

入学選抜Ⅱ期

専門試験

試験開始	11 時 30 分
試験終了	12 時 30 分

注意

- 1 問題用紙は試験開始の合図があるまで開けないでください。
- 2 試験開始直後に次のことを確かめ、解答用紙を冊子からはずして使用してください。
 - a. 問題用紙は表紙を除いて3枚です。
 - b. 解答用紙は4枚です。
- 3 受験番号は解答用紙に記入してください。氏名は書いてはいけません。
- 4 答えは解答用紙に記入してください。
- 5 問題用紙は、試験終了後、各自持ち帰ってください。

問題1 以下の心理学の専門用語の中から4つ選び、それぞれの意味を簡潔に説明しなさい。なお、選択した問題の番号を、解答用紙の [] 欄に記入してから解答しなさい。

- ① 特定少年 (specified juvenile)
- ② 精神交互作用 (psychic interaction)
- ③ 内容的妥当性 (content validity)
- ④ 先行オーガナイザー (advanced organizer)
- ⑤ 脱馴化 (dishabituation)
- ⑥ 準実験的研究 (quasi-experimental research)

問題2

I. 心理臨床家の職業倫理について、次の問いに答えなさい。

- ① 心理臨床家には、多重関係の禁止が義務付けられているが、多重関係とは何か、具体例を挙げて述べよ。
- ② 多重関係の弊害について、セラピスト側の弊害と、クライアント側の弊害についてそれぞれ述べよ。

II. 心理療法について、次の問いに答えなさい。

力動的心理療法とユング心理療法では、①「リビドー」に対する考え方、②「無意識」に対する考え方、③「症状の捉え方」、④「セラピーの方法・概念」など異なる部分がある。①～④について力動的心理療法とユング心理療法をそれぞれ比較しながら述べなさい。

- ① リビドーに対する考え方：
- ② 無意識に対する考え方：
- ③ 症状の捉え方：
- ④ セラピーの方法・概念：

問題3 以下の問いに答えなさい。

- ① 下記の文章はある法律の第1条、第2条を抜粋したものである。この法律名を答えなさい。
- ② 【A】【B】の空欄の言葉を答えなさい。
- ③ 第二条でいう次に掲げる行為とは具体的にどのような行為をいうのか答えなさい。
- ④ この次に掲げる行為に対して、心理職として考えられる関わりについて200字程度で答えなさい。

第一条 この法律は、【A】が児童の人権を著しく侵害し、その心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与えるとともに、我が国における将来の世代の育成にも懸念を及ぼすことにかんがみ、（中略）、【A】の予防及び早期発見その他の【A】の防止に関する国及び地方公共団体の責務、【A】を受けた児童の保護及び自立の支援のための措置等を定めることにより、【A】の防止等に関する施策を促進し、もって児童の権利利益の擁護に資することを目的とする。

第二条 この法律において、「【A】」とは、保護者（親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。）がその監護する児童（【B】歳に満たない者をいう。以下同じ。）について行う次に掲げる行為をいう。（以下省略）